

宝物の椅子 (1996)

椅子
THE CHAIR

メディア 映画

ジャンル

製作国 中国／香港

色彩 Color

時間 86分

初公開日 1996/12/04

公開情報 大映＝東光徳間

【解説】

もしかしたら大変貴重な骨董品かもしれないという椅子を巡って、たまたまそれを手に入れた引退した小役人の老人が、大騒動に巻き込まれてしまう。彼を取り巻く人物群は、結婚適齢期を迎えた娘と欲の皮のつっぱったその恋人、椅子を一度は売ったのに取り戻そうとする古道具屋、それは博物館から盗まれた代物だと疑う公安、はたまた、そうした文化的価値のあるものは国家財産だと没収しようとする役人……といった面々で、ふとしたスキに肝心の椅子が行方不明になったものだから、騒ぎはさらにエスカレート。イタリア映画や近ごろ評判のイラン映画にあるようなこぢんまりとした題材で、ほんわかとあるいは鋭く人間総体に切り込んでいく作品かと期待していたのだが、焦点の定まらないのには落胆してしまった。主人公の老人の態度も欲呆けしたり毅然としたりと、ぶーらぶら。それが言いたかったというよりは、作品そのものを象徴しているように感じられた。第一、演じる役者に魅力が乏しい。

【クレジット】

監督 チャン・ティエリン

出演 ピー・ケン

チアン・リーフェン

マー・チュアン